



さわやか

校長 吉本 仁
担当 架谷 勇希



「温かい社会に変える あなたの主体的な一歩」

かほく市立宇ノ気中学校長 吉本 仁

6月には加賀地区大会や中日吹奏楽コンクールが行われました。どの会場においても、生徒たちは宇ノ気中生らしく最後まで一生懸命、競技や演奏に臨んでくれました。

引き続き、県体等に進出する皆さんは、さらなる高みを目指して、今まで以上に主体的に練習に励んでください。また、活動を終えた3年生の皆さんは、気持ちを早く切り替え、来春の大きな目標に向けて、日々努力を積み重ねてください。**部活動やクラブ活動で苦労した経験は決して無駄になりません。**これまでの経験を今後活かすことで、さらなる成長につなげてほしいと思います。



加賀地区大会の様子

さて、数年前に家族と外食をした際、私はある苦い経験をしました。

ファミリーレストランで、隣の席のご高齢のご夫婦が、注文用タブレットを前に長い時間困った表情をされていました。デジタル化は便利ですが、お二人にとっては高く厚い壁だったようです。どのように操作し、注文すればよいのか分からない様子でした。

私は声をかけようと思いましたが、「余計なお節介かも」と躊躇^{ちゅうちょ}してしまい、すぐに行動へ移せませんでした。そうしているうちに、ご夫婦は注文を諦め、お店を出て行かれました。ご夫婦にとって、せっかくの貴重な外食の機会であったのに、力になれなかった自分を深く反省しました。

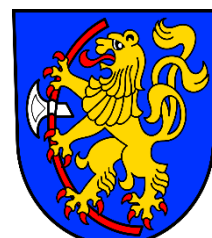
生徒の皆さんに対し、4月から継続して話題としている「主体性」とは、単に「自分で考えて動く力」だけではなく、「**今、私ができることをすると決意し、勇気を出して一歩を踏み出す力**」でもあります。「**迷惑かもしれない**」という心のブレーキを外し、困っている人のために動く「**小さな勇気**」をもつことも必要なのだと、今更ながら私は身をもって学びました。

技術が進歩しても、その影で誰かが困っている瞬間は必ずあります。**誰かのために自分ができることを見つけ、躊躇なく手を差し伸べられる人になってほしいと願っています。**

一人一人の「主体的な一歩」こそが、温かい社会に変えていく原動力になるはずです。

■■■ドイツ・メスキルヒ市派遣生徒決定（かほく市姉妹都市交流事業）■■■

かほく市3中学校から58名の応募がありましたが、かほく市教育委員会による厳正な選考の結果、本校からは10名の生徒が派遣されることが決定しました。生徒の皆さんは今後、毎月開催される研修に臨み、ドイツの生活や文化に関する知識をはじめ、ドイツ語の基本会話などを習得する予定です。かほく市の代表としての自覚を持ち、現地でしか得られない貴重な経験をたくさん積んできてほしいと期待しています。また、惜しくも選ばれなかった皆さんも、今回のチャレンジ精神を大切にして、さらに広い視野を持って異国の文化を学んでほしいと思います。



先日、加賀地区大会や県体陸上が行われました。生徒の振り返りの中には、大会のことが多く書かれていました。部活動では、県大会へ出場する部と新チームへ移行する部に分かれていますが、県大会へ出場する３年生は、周りの生徒はすでに受験に向けて本格的なスタートを切っていることを意識しておきましょう。また、１・２年生もすでに新チームとなって頑張っているチームもあります。部活動でなく、クラブとしても活動する競技も増えますが、日々の練習だけでなく勉強もこれまで以上に頑張っていきましょう。

「いじめ撲滅宣言」

私たちは、みな平等であり、愛し、愛される権利をもっています。いじめは、他の人の様子を、勝手にしてはならない行為です。一人一人が抱えている悩みや苦しみと、いじめを許さない心と行動を伸ばし、この宣言を实践します。

一、
どのような理由があっても、他の人の身体や心を傷つける行為は絶対にしません。

一、
いじめからは何も良いことは生まれないということを自覚します。

一、
いじめは、しない「させない」「見逃さない」、この三つの「ない」を实践します。

常に相手の気持ちを第一に考え、仲間と協力し、「笑顔」がえられる明るく楽しい学校をつくります。

平成二十五年 一月二十日
かほく市立平ノ岡中学校生徒会

*期間は、9/25（金）までとします。

もうすぐ夏休みに入ります。夏休みは自分の取り組みたい学習にじっくり取り組める期間です。計画的、継続的に学習できるかが、課題克服への鍵です。学習習慣を途切れさせないために、学習開始時間を固定したり、その日に取り組む内容を事前に決めてから学習を開始したりなど、「続けること」を意識して学習に向かってほしいと思います。

学校 HP の二次元コード

